

PIERIA 美術フランス語 基礎講座 ステップ2

目次

Table des Matières

- 1 課 1) 補語人称代名詞
- 2) 中性代名詞
- 3) 所有形容詞、所有代名詞
- 2 課 1) 文型
- 2) 数量の副詞 (peu, un peu, quelques, beaucoup)
- 3) 不規則動詞の直説法現在 (aller, venir)
- 3 課 1) 関係詞 ①
- 2) 疑問詞 ①
- 3) 強勢形人称代名詞 - 人称代名詞一覧
- 4 課 1) 過去分詞
- 2) 直説法複合過去
- 3) 命令法
- 5 課 1) 直説法半過去
- 2) 直説法大過去
- 3) 非人称表現
- 6 課 1) 疑問形容詞、疑問副詞 - 感嘆文
- 2) 受動態
- 3) 数詞 ② (21 以上)

PIERIA 美術フランス語 基礎講座 ステップ2 第1課

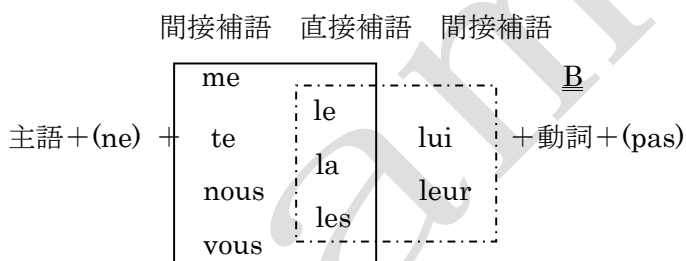
補語人称代名詞
 中性代名詞
 所有形容詞・所有代名詞

1.1. 補語人称代名詞(pronoms personnels compléments)

直接目的補語または間接目的補語として用いられる人称代名詞です。

主語 (主に「～は」)	間接 (主に「～に」)	直接 (主に「～を」)
je	me(m')	me(m')
tu	te(t')	te(t')
il / elle	lui / lui	le(l') / la(l')
nous	nous	nous
vous	vous	vous
ils / elles	leur / leur	les / les

これらの代名詞はいずれも動詞の前に置きます。間接補語と直接補語とを2つ並べて使用する場合、次のAまたはBの組み合わせのみ可能で、それ以外は間接補語を ステップ2 第3課 で述べる強勢形にしなくてはなりません。これは上級者でも作文の時につい忘れてしまう事が多いので良く覚えておいて下さい。



——— 実線：組み合わせA
 - - - - 点線：組み合わせB

- a. Il me donne un gâteau. Je le mange.
 (彼が私にケーキをくれます。私はそれを食べます)
- b. Il me donne une palette. Je l'utilise.
 (彼は私にパレットをくれます。私はそれを使います)
- c. Vous prêtez ce livre à Jean? – Non, je ne le lui prête pas.
 (あなたはこの本をジャンに貸すのですか？—いいえ、ジャンには貸しません)

→組み合わせB

d. Vous prêtez ce catalogue à Jean? – Non, je ne le lui prête pas.

(あなたはこのカタログをジャンに貸すのですか? –いいえ、ジャンには貸しません)

→組み合わせB

e. Vous connaissez M. Sato? – Oui, je vous le présente.

(佐藤さんをご存知ですか? ええ、あなたに彼を紹介しましょう)

→組み合わせA

*Je vous lui présente. (あなたを彼に紹介しましょう)

(*の印は非文法的な文を示す)

この場合、Je vous présente à lui.となります。

f. Vous connaissez la légende du Caravage? –Oui, je vais vous la raconter.

(カラヴァッジョにまつわる伝説をご存知ですか。 –はい説明しましょう)

→組み合わせA

略

Exercices 1

1. 次の文を訳しなさい。

1) Van Dyck veut faire des tableaux historiques mais son maître ne le lui permet pas.

略

2. 各文を訳し、次に下線部を適切な代名詞に置き換えなさい。

1) Je prends le catalogue de cette exposition à la main.

略

3. フランス語に訳しなさい。下線部には代名詞を用いること。

1) プッサンの絵はいつも堅固な感じがする。

—うん。いつもそうだ。

略

【コラム1：ゴッホゆかりの地】

ゴッホはオランダ出身の画家ですが、1886年にパリに来て以来、フランスの地方の主に3つの町を転々とします。

アルル時代・Arles

1888年2月、ゴッホは南フランスのアルルに移り、「ひまわり」や「夜のカフェテラス」などの名作を次々に生み出します。彼は南フランスに画家の協同組合を築くことを夢見て、ポール・ゴーギャンとの共同生活を送りますが、次第に2人の関係は行き詰まり、ゴッホの「耳切り事件」で共同生活は終焉します。以後、彼は発作に苦しみながらアルルの病院への入退院を繰り返しました。この病院の建物は今も残っていて、ゴッホが絵に描いた中庭を見ることができます。またゴッホが描いた跳ね橋も再現されています。

サン＝レミ時代・Saint-Rémy-de-Provence

略